

令和4年度

事業報告書

社会福祉法人 福島福祉施設協会



# I 事業報告

## 1. 福祉施設経営

福島市の総合福祉施設経営団体として、合理的かつ能率的な施設経営を行うとともに、地域住民や利用者の要望に対処するように努めた。地域社会と密接な連携を保ち、施設機能の活用を図りながら地域福祉の向上に努めた。

## 2. 法人運営

- (1) 社会福祉法人としての重要な役割を果たすべく、経営組織をもって事業運営に関する透明性が向上できるよう諸規程の整備を行った。
- (2) 利用者の立場にたち、多様化するニーズに的確に対応出来るように満足度調査を実施し、自主的改善に努めた。
- (3) よりよい福祉サービス提供のため、職員が心身ともに元気に働ける職場を目指した健康づくりや職員処遇改善全般の向上に努めた。

## 3. 重要な取り組み

- (1) 法人経営の安定的な継続や地域社会の説明責任を果たし信頼を高めるため、中長期計画に基づき施設整備及び事業を行った。
- (2) 会計監査導入に向けた取り組みとして、固定資産物品の管理台帳等の整備に努めた。
- (3) 多様な人材の雇用として、関係機関と連携し障がい者の継続的な雇用と採用に努めた。
- (4) 避難先確保のため避難場所提供の覚書を基に安全対策を講じた。
- (5) 職員の人材確保と定着に努めるとともに、各種研修を通じ社会福祉理念、技術の習得向上など法人全体の福祉サービス向上に努めた。
  - ・全体研修 メンタルヘルス研修
    - 正規職員施設長部門（1回）
    - 正規職員副主任・次世代リーダー部門（1回）
    - 無期雇用、臨時雇用部門（1回）
  - ・主任研修「管理者としての『伝える力』の向上」（5回）
  - ・ハラスメント防止研修（正規職員 若年層）（1回）
  - ・広報研修会
  - ・防災講習会（地震編）
- (6) 新型コロナウイルス感染症流行下においても、職員が安心して働ける職場環境の整備に努めた。
- (7) 事業継続計画（BCP）を事業分野ごとに策定し、継続的なサービスの提供ができる体制を整えた。
- (8) 健康診断後の二次健診を徹底するとともに、ストレスチェックを実施し、職員の心身の健康づくりに努めた。
- (9) 計画的な年次有給休暇の取得を促進し、周知徹底や実績調査の実施により確実な年次有給休暇取得に努めた。
- (10) 広く当協会を知ってもらうため、SNS等による情報発信に努めた。

#### 4. 評議員会・理事会・監事会の開催

##### (1) 評議員会

定時 令和4年6月28日(火)

##### 協議事項

議案第1号 令和3年度各会計決算承認の件

##### 報告事項

報告第1号 令和3年度事業報告

臨時 令和5年3月28日(火)

##### 協議事項

議案第2号 理事選任の件

##### (2) 理事会

第1回 令和4年6月9日(木)

議案第1号 令和3年度事業報告承認の件

議案第2号 令和3年度各会計決算承認の件

議案第3号 福島恵風園職員の処遇改善に係る手当の支給に関する規程制定の件

議案第4号 めぐみの風居宅介護支援センター職員の処遇改善に係る手当の支給に関する規程制定の件

議案第5号 令和4年度各会計資金収支補正予算(第1回)

議案第6号 福島隣保館保育所屋根防水工事請負契約方法決定の件

議案第7号 定時評議員会招集事項決定の件

第2回 令和4年6月29日(水) (書面)

議案第8号 保育所管理規程の一部変更の件

第3回 令和4年9月14日(水)

議案第9号 保育所職員に対する福島市新型コロナウイルス感染症対策支援事業に係る手当の支給に関する規程制定の件

議案第10号 介護職員等の処遇改善に係る手当の支給に関する規程の一部変更の件

議案第11号 児童センター職員及び福島市わたりふれあいセンター職員の処遇改善に係る手当の支給に関する規程制定の件

議案第12号 事務局職員の処遇改善に係る手当の支給に関する規程制定の件

議案第13号 無期雇用転換職員の雇用等に関する規程の一部変更の件

議案第14号 令和4年度各会計資金収支補正予算(第2回)

議案第15号 福島隣保館保育所屋根防水工事請負契約締結の件

議案第16号 福島恵風園受水槽交換工事請負契約締結方法決定の件

第4回 令和5年1月19日(木)

議案第17号 保育所職員に対する処遇改善に係る手当の支給に関する規程の一部変更の件

議案第18号 令和4年度各会計資金収支補正予算(第3回)

報告第1号 職務の執行状況について

第5回 令和5年3月16日(木)

議案第19号 就業規則の一部変更の件

- 議案第 20 号 職員服務規程の一部変更の件
- 議案第 21 号 経理規程の一部変更の件
- 議案第 22 号 臨時雇用職員の雇用等に関する規程の一部変更の件
- 議案第 23 号 介護職員に対する処遇改善に係る手当の支給に関する規程の廃止の件
- 議案第 24 号 保育所職員に対する一時金支給に関する規程の一部変更の件
- 議案第 25 号 保育所職員に対する処遇改善に係る手当の支給に関する規程の一部変更の件
- 議案第 26 号 無期雇用転換職員の雇用等に関する規程の一部変更の件
- 議案第 27 号 施設長選任の件
- 議案第 28 号 令和 4 年度第 1 回臨時評議員会招集事項決定の件

第 6 回 令和 5 年 3 月 28 日 (火)

- 議案第 29 号 令和 4 年度各会計資金収支補正予算 (第 4 回)
- 議案第 30 号 令和 5 年度事業計画策定の件
- 議案第 31 号 令和 5 年度各会計資金収支予算
- 議案第 32 号 副会長選任の件
- 議案第 33 号 常務理事選任の件
- 議案第 34 号 福祉サービス苦情解決第三者委員選任の件

第 7 回 令和 5 年 3 月 30 日 (木) (書面)

- 議案第 35 号 役員等賠償責任保険契約締結の件
- 議案第 36 号 福島恵風園給食業務委託契約締結の件

(3) 監事会

令和 4 年度 業務執行、財務状況監査

令和 4 年 5 月 25 日 (水) ・ 26 日 (木)

5. 役員等研修会への参加

(1) 令和 4 年度 福島県経営協セミナー (前期)

- 主 催 福島県社会福祉法人経営者協議会
- 期 日 令和 4 年 7 月 14 日 (木)
- 場 所 オンライン研修
- 出席者 渡辺 千賀良

(2) 令和 4 年度 社会福祉法人理事研修

- 主 催 社会福祉法人福島県社会福祉協議会
- 期 日 令和 4 年 11 月 22 日 (火)
- 場 所 オンライン研修
- 出席者 大竹 美恵子

(3) 令和 4 年度 苦情解決責任者・第三者委員研修

- 主 催 福島県運営適正化委員会
- 期 日 令和 5 年 1 月 27 日 (金)
- 場 所 福島県農業総合センター
- 出席者 矢吹 稔・大河内 恵

## 6. 職員研修の実施

### (1) 令和4年度 広報研修

期 日 令和4年7月5日(火)  
場 所 オンライン研修  
内 容 SNS活用研修  
参加人数 24名

### (2) 令和4年度 防災講習会

期 日 令和4年7月12日(火)  
場 所 福島市吾妻学習センター  
内 容 災害と防災気象情報の利活用について  
参加人数 29名

### (3) 令和4年度 全体研修(施設長)

期 日 令和4年10月14日(金)  
場 所 オンライン研修  
内 容 メンタルヘルスケア研修  
参加人数 9名

### (4) 令和4年度 階層別研修(主任)

期 日 ①令和4年9月8日(木)  
②令和4年10月6日(木)  
③令和4年11月10日(木)  
④令和4年12月8日(木)  
⑤令和5年1月12日(木)  
場 所 福島市吉井田支所  
内 容 コーチングコミュニケーション研修  
参加人数 13名

### (5) 令和4年度 全体研修(副主任・次世代リーダー)

期 日 令和4年9月7日(水)  
場 所 オンライン研修  
内 容 メンタルヘルス研修  
参加人数 18名

### (6) 令和4年度 階層別研修(若年層職員)

期 日 ①令和4年8月17日(水)  
②令和4年8月30日(火)  
場 所 オンライン研修  
内 容 ハラスメント研修  
参加人数 ①14名 ②13名 合計27名

### (7) 令和4年度 全体研修(無期甲・乙・丙・嘱託)

期 日 ①令和4年11月8日(火)  
②令和4年11月15日(火)  
場 所 オンライン研修  
内 容 メンタルヘルス研修  
参加人数 ①18名 ②20名

## 7. 苦情受付

### (1) 令和4年度苦情受付件数

施設分類	件数	内容
高齢者施設	3件	対応3
保育所	7件	保育サービス7
児童センター	2件	対応2
合計	12件	

### (2) 苦情内容

高齢者施設	苦情申出人	利用者
	苦情内容	デイサービスセンター利用者から「(施設の)トイレの便座が冷たい」「廊下が寒い」との話がある。
	処理内容	「トイレの便座が冷たい」との訴えの件については、節電対策として夜間帯、便座ヒーターのスイッチを切っていたが、デイサービス開始前にスイッチを入れることを忘れていた。全職員に確認を徹底するように周知し、再発防止に努めた。「廊下が寒い」との訴えについては、新型コロナ感染予防の観点から換気をしていることを伝え、利用者には、上着を羽織るなどの対応をお願いした。

保育所	苦情申出人	保護者
	苦情内容	子どもが新型コロナウイルス感染症により長期欠席となったが、休園等の素早い対応してもらいたかった。また、保育園から体調の確認などの連絡が一切なかった。
	処理内容	休園等については、関係機関と相談しながら対応をしているところであるが、保護者からの訴えを重く受け止め保育園としての対応の遅れと連絡不足であったことについて謝罪した。また、職員に対しても長期欠席する家庭への連絡や保護者の気持ちに寄り添った対応を心がけ、信頼関係を築いていくように周知した。

児童センター	苦情申出人	保護者
	苦情内容	職員の子どもへの指導に対する不満
	処理内容	法人本部へ匿名(児童センター名の明示も無し)での相談内容のため、事情を傾聴し事実の確認をすることを伝える。各所長へ事実の確認を行うも該当すると思われる事案は確認できなかったが、職員に対して、子どもに寄り添った対応をするように周知するとともに法人本部職員が各児童センターを巡回し、現場の様子を確認した。

## 8. 地域における公益的な取組

### ① 地域の要支援者に対する相談支援

内 容：地域住民や利用者（保護者）等に対する相談支援  
取組施設：全施設

### ② 地域の要支援者に対する資金や物資の貸付・提供

内 容：福祉器具やAED、レクリエーション器具等の貸出

- 取組施設：福島恵風園、全保育所、全児童センター
- ③ 既存事業の利用料の減免・免除
- 内 容：低所得者に対し利用者負担額を軽減
- 取組施設：福島恵風園デイサービスセンター
- ④ 地域の福祉ニーズを把握するためのサロン活動
- 内 容：デイサービスの一日体験や子ども食堂事業
- 取組施設：福島恵風園デイサービスセンター、福島市野田児童センター
- ⑤ 地域住民に対する福祉教育
- 内 容：福祉人材の育成を目的とした実習生やボランティア等の受入れ
- 取組施設：福島恵風園、全介護保険事業所、全保育所、全児童センター
- ⑥ 地域の関係者とのネットワークづくり
- 内 容：地域団体や町内会との連携及び参画
- 取組施設：福島市蓬莱児童センター、福島市清水児童センター、  
福島市渡利児童センター
- ⑦ 福祉に関する情報発信
- 内 容：子育てや保育、介護に関する情報発信（SNS 利用を含む）
- 取組施設：福島恵風園デイサービスセンター  
めぐみの風居宅介護支援センター、全保育所
- ⑧ 地域の清掃活動
- 内 容：周辺の道路や近隣の公園等の清掃及び除草、除雪
- 取組施設：全児童センター

## Ⅱ 実績報告書

### 養護老人ホーム 福島恵風園

#### 1. 運営管理

- (1) 入所者が限られた環境の中で快適な生活を送れるよう工夫した。
- (2) 介護の必要な入所者は介護保険サービスを利用し、機能の維持を図った。
- (3) 被虐待高齢者、また一人暮らしによる生活苦の高齢者、身元引受人のいない高齢者を積極的に受け入れた。
- (4) 100 名の定員を充足するため、生活支援を必要としている高齢者を入所につなげるよう福島市、近隣市町村、地域包括支援センターに働きかけた。
- (5) 養護老人ホームの入所の実態が入所基準と大差があるため、行政へ現状の報告と実状に合った職員配置を要望した。
- (6) 全国老人福祉施設協議会の一斉要望活動に合わせて緑光園と共に養護老人ホーム処遇改善に関する要望書を福島市に提出した結果、処遇改善加算が支給された。
- (7) 福島市あらかわクリーンセンターからの給湯を活用した。
- (8) 避難訓練（火災・水害・地震等）を実施した。
- (9) 福島恵風園拠点における非常災害対策にかかる事業継続計画（BCP）を策定し、継続的なサービスの提供ができる体制を整えた。
- (10) 法人内の介護保険事業所と事業内容の相互理解を深めるため、高齢者施設会議を

開催した。

## 2. 職員体制

- (1) 職員間の共通課題意識向上のため、各種研修会（オンライン・対面）に参加した。
- (2) 夜間業務は委託業者からの派遣者欠員や夜間専門員の退職等により、欠員が生じ夜間専門員の採用に努めたが確保が困難な状況が続き、職員の夜勤回数が増加している。
- (3) 支援員の確保が難しく派遣会社に派遣紹介や採用マーケティング会社に依頼した。
- (4) 給食業務を日清医療食品株式会社に継続委託した。

## 3. 施設整備

- (1) 静養棟 1～3 号室エアコン設置（コンセント増設）
- (2) 感染対策用品倉庫の設置
- (3) 配膳カート購入（2 台）
- (4) 中央競馬馬主社会福祉財団助成による衣類乾燥機入替
- (5) 園内各所網戸修繕工事
- (6) 福島市省エネルギー設備導入支援事業による LED 非常照明器具 26 台入替

## 4. 健康管理

- (1) 新型コロナウイルス感染症クラスターが 8 月 1 日より発生し、入所者 37 名職員 4 名合計 41 名が罹患したが、福島恵風園の職員はもとより法人始め介護保険事業所の支援により乗り切ることができた。
- (2) 定期健康診断、結核検診、インフルエンザ予防接種・新型コロナウイルスワクチン接種等を実施した。
- (3) インフルエンザ・ノロウイルス・新型コロナウイルス感染症予防のための啓発、各所の消毒、加湿、検温など予防に努めた。
  - ・インフルエンザが発症した場合の予防薬投与について承諾を得た。
  - ・インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症流行対策のため、面会外出制限やオンライン面会を行った。
  - ・新型コロナウイルス感染症対策マニュアルを改訂した。
- (4) 新型コロナウイルス感染症対策として、正面玄関・職員玄関での検温消毒体制の整備、職員の 1 日 2 回の検温、消毒環境の充実に努めた。
- (5) 熱中症予防のための啓発・水分補給を行った。
- (6) 食中毒防止のための啓発に努めた。

## 5. ニーズへの対応

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策により外出できなかったため、代替として園内でできる行事を実施した。（秋まつりなど）
- (2) 園の畑で収穫した野菜を使用してのおやつを提供した。
- (3) 月 2 回の食料品の訪問販売を実施した。
- (4) 年 2 回の衣料品の訪問販売やバザーを実施した。
- (5) 自分での洗濯が困難となった入所者へ、希望によりクリーニング業者を利用できるように対応した。
- (6) 室内への冷蔵庫設置を希望する利用者への対応を行った。

## 6. 地域交流活動

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策のため、活動を自粛した。

## 7. 利用状況

定員	100 人			
入所	人数(3月31日現在)	100 人		
		通常入所		
		男	女	計
		30	70	100
		被災者受入		
		男	女	計
	0	0	0	
退所	人数(令和4年度)	17 人		
	理由	男	女	計
	長期入院	0	0	0
	死亡	5	10	15
	老人保健施設への転所	0	0	0
	他施設への転所	1	0	1
	自宅へもどる	0	0	0
	その他	0	1	1

## 地域密着型通所介護、介護予防・日常生活支援総合事業 福島恵風園デイサービスセンター

### 1. 運営管理

- (1) 利用者の生活の質の向上のため、担当者会議等に出席し、家族や各居宅介護支援事業所等と連携を図った。
- (2) 外部利用者の送迎を安全安心な体制で実施した。
- (3) 入浴介助については、介護職員を確保し、充実した介助を実施した。また、職員の熱中症予防のためアイスベストを導入した。
- (4) 各種行事については、季節に応じたレクリエーション等を実施した。
- (5) 食事については、栄養士と連携し個々人のニーズに沿った提供を実施した。
- (6) レクリエーション・機能訓練等、楽しみながら心身活性化を図った。
- (7) 年 2 回運営推進会議を開催し、地域との交流・連携を図った。(前期は書面開催・後期は通常開催)
- (8) 事業所内外の研修に参加し、専門職としての質の向上を図った。(新型コロナウイルス感染症予防のためオンライン研修)
- (9) 福島恵風園拠点における自然災害の事業継続計画（BCP）を策定し、継続的なサービスの提供ができる体制を整えた。
- (10) 次年度に新たな加算（個別機能訓練加算の上位加算）を算定するために、新しく職員を採用し、体制作りを行った。
- (11) 福島恵風園内の新型コロナウイルス感染症クラスター発生時に事業を休止したが、再開までの間在宅利用者の希望者に対し、訪問でのサービス提供を実施した。

### 2. 衛生管理

- (1) 福島恵風園の新型コロナウイルスクラスター発生時には、衛生的な環境保持のため園内の清掃等に入り、早期収束に尽力した。
- (2) 空気清浄器の整備を行い、施設内の消毒を 1 日 2 回実施し感染予防に努めた。

- (3) 浴槽のレジオネラ菌の検査を年1回実施した。
  - (4) インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症の対策として、マスクの配布・手指消毒を実施し発生予防に努めた。
  - (5) 職員が感染の媒体にならないよう消毒を徹底した。
  - (6) パート職員への健康診断（労働安全衛生規則健診Ⅱ）を実施し健康管理に努めた。
3. 施設整備
- (1) 災害時の備蓄品を補給し、再度整えた。
  - (2) 車椅子使用者が増えたため、車椅子を1台購入した。
  - (3) ipadを増やし、業務の効率化を図った。
4. 地域交流活動
- (1) 第27回吉井田地区文化祭に利用者の作品を出展するとともに、事業所のパンフレットを配布した。
5. 利用状況

年間延べ利用者数		2,868人	
1日平均利用者数		12.3人	
稼働日数		234日	
登録者	人数(3月31日現在)	36人	
	介護度内訳	事業対象者	1人
		支援1・2	3人
		介護1	10人
		介護2	5人
		介護3	8人
		介護4	7人
		介護5	2人

## 指定居宅介護支援事業

### めぐみの風居宅介護支援センター

1. 活動状況及び事業内容
- (1) 利用者のニーズへの的確な対応及び生活の質の向上を目指し、関係諸機関との連携を図り、総合的かつ効率的な視点に基づくサービス提供を実施した。
  - (2) 福島恵風園、福島恵風園デイサービスセンター、ホームヘルプステーションめぐみと情報交換や意見集約を行いながら、園内利用者のニーズに即応した円滑な介護サービスの提供が行えるよう連携を図った。（福島恵風園の新型コロナウイルス感染症クラスター発生時には、ケアの必要な方に十分な支援が出来るようサービスの調整をタイムリーに行った。また、現場支援の担当を配置し、園内業務のサポートを行った。）
  - (3) 指定介護予防支援業務の委託を地域包括支援センターより受け、介護予防、総合事業のケアマネジメントを行った。
  - (4) 要介護認定調査の委託を受け、要介護認定調査を行った。
  - (5) オンライン等の各種研修会に参加し自己研鑽に努め、質の高いケアプランの作成や相談援助につなげた。
  - (6) 地域包括ケアシステム構築に向け、地域ケア研修会や地域の諸団体との連携を

図った。また、地域における主任介護支援専門員の役割として、研修の講師補助の協力を行った。

- (7) 利用者、家族の緊急時に対応するために、常時（24 時間）担当者と連絡可能な体制を整え、営業時間以外にも対応を行った。
- (8) 業務遂行にあたり感染予防対策をマニュアルに沿って行うとともに、体調管理に努め、疾病に関する情報提供を行った。
- (9) 福島恵風園拠点における自然災害の事業継続計画（BCP）を策定し、継続的なサービスの提供ができる体制を整えた。

## 2. 利用状況

居宅サービス計画作成実件数(月平均)	77.7 件
予防委託実件数(月平均)	5.8 件
給付管理年間総数	933 件
認定調査年間実施総数	70 件
在宅訪問年間総数	1,299 件

## 指定訪問介護、介護予防・日常生活支援総合事業 ホームヘルプステーションめぐみ

### 1. 運営管理

- (1) 地域の利用者や福島恵風園の利用者を中心にホームヘルプサービスを提供した。個人の有する能力に応じた日常生活を営むことができるように入浴介助や排泄介助・食事介助など生活全般にわたる介護を提供した。
- (2) めぐみの風居宅介護支援センターや地域包括支援センター・外部居宅・福島恵風園との連携を密にしながら利用者のニーズに十分配慮し、経営基盤の安定に努めた。
- (3) 新型コロナウイルス感染予防策をとりながらのサービス担当者会議への出席により、保健医療サービス、福祉サービス提供事業者との密な連携を図った。
- (4) 利用者のニーズに対応するため、勤務時間帯を必要に応じて変更し、充実したサービス提供に努めた。

### 2. 事業内容

- (1) 要介護者に対して訪問介護を提供した。
- (2) 福島恵風園の利用者が新型コロナウイルスの感染拡大防止策によりデイサービスへの通所を中止している期間において、居宅介護支援事業所の調整連携により利用者の保清のため、入浴や排泄介助などの身体介護のサービス提供を可能な限り行うなど、臨機応変に対応した。
- (3) 定期的な事業所内研修を充実させ、外部研修は新型コロナウイルス感染拡大の状況を見極めて感染の予防に努めながら参加し、オンライン研修なども取り組みながら、職員の資質の向上と専門性の研鑽に努めた。
- (4) ICTを導入し、計画書等の作成・記録業務・情報共有業務・請求業務を一気通貫で行うことで、業務の効率化を図った。

(5) 園外の在宅利用者の新規依頼を積極的に受け、在宅利用者のサービス提供を行い、地域からの信頼を得られるよう努めた。

### 3. 安全衛生管理

(1) 福島恵風園拠点における自然災害の事業継続計画（BCP）を策定し、継続的なサービスの提供ができる体制を整えた。

(2) 福島恵風園の新型コロナウイルス感染症クラスター発生時、N95 マスクや防護服等を正しく着用するなどの万全の感染症予防対策を行いながら、陽性者や濃厚接触者のサービス提供にも入り利用者の保清に努めた。

(3) マスク及びフェイスシールド等のウイルス対策用品を備えて使用して換気や消毒を徹底し、新型コロナウイルス及びインフルエンザ等の感染対策に努めた。

(4) 1日2回の検温及び健康チェックを実施し、必要時には定期的な抗原検査を実施し、職員の健康管理を行った。

(5) 万が一感染者が発生した場合に媒体とにならないよう消毒を徹底し、感染拡大予防に努めた。

(6) 腰痛予防や転倒予防についての研修を重ね、スライドボード・スライドシートの使用や支援員の協力を得て二人体制で移乗介助するなど、安全に業務を遂行するよう努めた。

(7) パート職員への健康診断（労働安全衛生規則検診Ⅱ）を実施し健康管理に努めた。

### 4. 利用状況

年間延べ利用者数	11,657人
1日平均利用者数	35.6人
年間累計利用回数	19,350回
稼働日数	365日
人数（令和5年3月31日現在）	52人

登録者		
介 護 内 訳	要支援1・2	0人
	要介護1	13人
	要介護2	10人
	要介護3	15人
	要介護4	10人
	要介護5	4人

## 老人福祉センター（福島市指定管理施設） 福島市わたりふれあいセンター

### 1. 運営管理

高齢者が健康で明るく楽しい日々を過ごすために、健康増進器具や囲碁・将棋及び図書、そして入浴並びに休憩等の施設を活用して憩いの場を提供した。

また、健康相談や子どもたちとのふれあいなどを通して、高齢者の心豊かで生きがいのある暮らしに寄与した。

### 2. 運営方針

- (1) 利用者の安全確保に努めるとともに、生活相談等の事業を実施することにより事業の目的達成に努めた。
  - (2) 地域の各種機関・団体との連携を図り、施設を地域コミュニティー活動の場として開放し、サービスの提供に努めた。
  - (3) 利用者が活動しやすい雰囲気づくりに努めた。
3. 事業内容
- (1) 新型コロナウイルス感染症対策を実施した。
  - (2) 高齢者の生活相談、健康相談、健康指導を行うとともに、ホールを開放し利用の促進を図った。
  - (3) ふれあい交流事業として世代間交流事業に参加した。
4. 利用状況

利用者数	個人	9:00～18:00	14,387 人
		上記のうち入浴者	12,775 人
	団体	9:00～18:00	10 件
		上記の人数	179 人

## 生きがい型デイサービス・外出支援事業（福島市受託事業） 福島市渡利デイサービスセンター

1. 運営管理
- 在宅で生活する介護保険対象外の比較的元気な高齢者及び家に閉じこもりがちな一人暮らしの高齢者に対し、通所により各種のサービスを提供することによって、生きがいと社会参加を促進するとともに、社会的孤立感の解消及び自立生活の助成に努めた。
2. 運営方針
- (1) 市の委託事業として、利用者の確保と各種行事の実施により、円滑かつ安定した事業の促進を図り、事業目的の達成に努めた。
  - (2) 高齢者と子どもたちとの交流や、高齢者の生きがいと社会参加の促進に努めた。
  - (3) 事業目的の達成のため、安全で安心して利用できるセンターとして、専門性を広く公開し、地域福祉の向上に努めた。
3. 事業内容
- (1) 新型コロナウイルス感染症対策を実施した。
  - (2) 健康相談、送迎、入浴サービス、給食サービス（福島市契約書による）、レクリエーション、ふれあい交流事業を行った。
  - (3) 生きがい活動として、趣味活動、日常動作訓練、遠足等を実施した。

#### 4. 利用状況

年間延べ利用者数	1,474 人
1日平均利用者数	6.1 人
稼働日数	241 日
登録者数(3月31日現在)	40 人

## 保 育 所

### 福島隣保館保育所、福島保育所、瀬上保育所 福島わかば保育園、福島ふたば保育園、飯坂保育所

#### 1. 運営管理

- (1) 保護者が安心して預けられるよう質の高い保育に努めるとともに、子どもの生命保持と健やかな生活の基本となる健康安全の確保に当たった。
- (2) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、昨年度に引き続き外部者の受入れは実習生と一時預かりに限定し、入所希望者の施設見学は制限をしながら対応した。
- (3) 物価上昇に伴い副食費の金額変更を行い、安定した給食の提供を行った。  
また、保育所（園）で食具を準備し使用することで、保護者への負担軽減を図った。
- (4) 福祉サービス第三者評価は、前年度延期になっていた福島わかば保育園が 5 月に受審し、12月に福島保育所が受審した。
- (5) 感染症対策に配慮しながら養成校（保育士・看護師・栄養士）からの実習生を受け入れ、人材育成に努めた。
- (6) コロナ禍で保育や子どもの様子を保護者に伝える（見てもらう）ことが難しくなっている中、定期的にホームページを活用し保育所（園）や子どもの様子を発信した。
- (7) 幼保小中との交流（小学校での研修、小学校見学）は再開した。
- (8) 令和 3 年 3 月 16 日の福島県沖地震発生による被害状況については、子どもの安全を最優先に把握と改善に努めた。なお、被害のあった飯坂保育所、瀬上保育所、福島保育所は修繕を行った。
- (9) 地域における公益的な取組として、ホームページを活用し子育て情報「お母さんだいじょうぶ」の発信を継続的に行い、地域の子育て支援の充実を図った。

#### 2. 保育状況

- (1) 保育理念のもと、保育課程に基づき発達段階に応じた保育に努めた。
- (2) 適切な環境を整え、一人ひとりの子どもを受容し、情緒の安定を図り、養護と教育の一体的な提供に努めた。
- (3) 保護者との共通理解のもと、家庭保育と集団保育との相互関係を大切にしながら保育を進めた。
- (4) 食育活動として、感染症対策をしながら季節の食材に触れることやクッキング活動等を通して、望ましい食生活について周知し、健全な心と体を育てた。  
また、「福島市特色ある保育」に福島隣保館保育所がエントリーし、広く食育活

動を実施した。

(5) 子どもの心身の発達を阻害する事象を見逃さないように関係機関との連携に努めた。

(6) 小学校へのアプローチプログラムの一環として、就学児の合同運動会を予定していたが、新型コロナウイルス感染対策のため、中止した。

### 3. 食育状況

(1) 食育年間計画、食育目標、食育方針を作成し、季節、年齢、発達段階に応じた食事の提供を行った。

(2) 食の嗜好を常に把握しながら食事を提供し、保護者との連携を密に乳幼児の食生活の指導を行った。また、食材についても、地産地消を中心に新鮮かつ旬の食材を提供した。

(3) 食育の促進について、保育士と栄養士との話し合いを深め全職員で取り組んだ。

(4) 医師の診断を基に、アレルギー除去食を実施した。

(5) 食中毒防止に留意するとともに、保護者に安全を周知するように努めた。

(6) 食べ物による窒息事故を防ぐために、マニュアルに基づき調理方法を工夫し安全に提供した。

### 4. 健康管理

(1) 嘱託医による乳児健診、内科健診（年 2 回）、歯科検診（年 1 回）を実施、また、専門機関による 3 歳以上の尿検査を実施した。（年 1 回）

(2) 身体測定（毎月）を実施して、成長発達状況の把握に努めた。

(3) 虫歯予防のため、嘱託医の指導のもと 4・5 歳児以上のフッ化物洗口を行った。

(4) 新型コロナウイルス感染症においては、福島市「新型コロナウイルス感染症対策ガイド」や施設協会保育所対応マニュアルに基づき、検温、手指消毒、年齢に応じたマスクの着用などの感染対策を徹底し、感染症の予防と健康管理に努めた。

### 5. 安全管理

(1) 危機管理マニュアルに基づき、建物、器具、遊具等の点検を行い、安全管理に努めた。

(2) 避難訓練・消火訓練は毎月行い、総合訓練は新型コロナウイルス感染拡大防止のため縮小して行った。

(3) 児童にわかりやすい防災・防犯の指導に努めた。

(4) 交通安全指導の上で絵本や紙芝居を用いた実地指導を実施した。

(5) 保育所の個人情報の取扱いにおいては、関係者の同意を得ながら慎重に行った。

(6) 乳幼児の睡眠の安全管理のために、0 歳児のみマット型センサーでの確認と全年齢目視での確認を行った。

### 6. 保育の質の向上

(1) 施設外研修に参加した

①各分会研修・研究会（施設長、主任保育士、保育士、給食担当者）へ参加

②オンライン研修への参加（社会福祉協議会、福島市、キャリアアップ等）

(2) 施設協会内研修を実施した

①年間テーマに基づいた年齢別研修の実施

(3) 施設内研修を実施した

①保育課程に基づき保育計画・行事等の検討及び反省

- ②園外研修参加者による報告
- ③施設ごとにテーマを設定した自主研修
- ④「人権擁護のためのセルフチェックリスト」による自己点検

## 7. 利用状況

施設名		福島隣保館 保育所	福島 保育所	瀬上 保育所	福島わかば 保育園	福島ふたば 保育園	飯坂 保育所	合計
定員		120	120	80	60	90	90	560
3月31日現在	年齢別在籍人数							
	0歳	17	12	7	7	12	13	68
	1～2歳	40	36	27	23	32	30	188
	3歳	24	25	16	9	19	19	112
	4歳以上	45	57	31	23	34	34	224
	計	126	130	81	62	97	96	592
	充足率	105.0%	108.4%	101.3%	103.4%	107.8%	106.7%	105.8%
年間延べ	定員	1,440	1,440	960	720	1,080	1,080	6,720
	措置人数	1,482	1,469	999	749	1,157	1,139	6,995
	充足率	103.0%	102.1%	104.1%	104.1%	107.2%	105.5%	104.1%
	年齢別在籍人数							
	0歳	153	117	78	64	121	133	666
	1～2歳	482	432	315	276	381	366	2,252
3歳	295	307	192	120	224	228	1,366	
4歳以上	552	681	372	276	412	408	2,701	
	計	1,482	1,537	957	736	1,138	1,135	6,985

## 地域子育て支援拠点事業（福島市受託事業）

わかば子育てセンター、せのうえ子育て支援センター（5日型）

いいざか子育て支援センター（6日型）

### 1. 運営管理

子育てを取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症の3年に及ぶ大流行により、外出や人と交流することへの不安が広がり行動範囲を狭め、地域社会のつながりの希薄化が深刻になってきたが、十分な感染予防対策を行いながら、安全安心な環境を整え子育て中の親たちやこれから子どもを産もうとしている親たちが抱く不安や悩み、孤独感を共有し、寄り添う支援を意識して事業を行った。

また、センターが地域における子育て支援の拠点となるよう、各種事業を推進するとともに、地域の関係機関・子育てサークル、施設との連携を図った。

### 2. 事業内容

#### （1）子育て親子の交流の場の提供及び交流の促進

①利用組数の制限については、感染状況の落ち着きなどを受けて徐々に緩和したが、職員、家族の感染等により職員の配置が困難であったことにより、休業や相談事業のみを行うこともあった。

②利用年齢の低年齢化が進み、0歳児保護者の大半は育児休業者で利用期間は短く、保育所入所の情報収集として利用することが多かった。また、利用者同士で育児や家庭での悩みを共有することが多くみられた。

- ③登録利用親子数が減ったことで親子同士が親しくなり、連絡先を交換し合ったりセンター外で遊んだりと相互に交流する機会も増えた。
- ④わかば子育てセンターとせのうえ子育て支援センターは、午後のひろばが利用できる5時間開設を行った。利用件数は少ないが、相談や0歳児の利用があった。
- ⑤いいざか子育て支援センターでは引き続き土曜日の開設を実施し、幼稚園・保育園児親子の利用が増えた。
- ⑥せのうえ子育て支援センターは、実地調査において指導されてきた専有スペースを設けることについて、改善の検討を始めた。

## (2) 子育てに関する相談、援助の実施

- ①相談のほとんどがひろば利用時に受けるものであった。内容は、幼稚園や保育園入園や食事面など子育てに関する内容の他、育児の大変さや家庭内での家事育児への協力についての相談も多く、利用者同士でアドバイスし合い繋がりを持てる機会づくりになるよう配慮した。
- ②親子でのセンター利用が終了した保護者からの子育て相談もあり、コロナ禍で入園・入学後に保護者同士の交流が限られる中で起こる不安などの相談にも対応した。

## (3) 地域の子育て関連情報の提供

- ①毎月のセンターだよりの発行やホームページの更新、福島市の子育てアプリ「母子モ」の運用など子育て支援に関する情報の発信に努めた。
- ②学習センターや近隣スーパーやクリニックなどにポスター掲示の協力を得て、センター活動の情報提供を行い、更に各種子育てに関するチラシの配布を行った。

## (4) 子育て及び子育て支援に関する講習等の実施

- ①親子教室は少人数で複数回行うなど参加機会を確保し、離乳食講座は感染状況をみながら、密にならない場を設定し試食会を実施した。
- ②幼児の食育講座では、食事の準備に関わる経験の大切さを伝え実食するなかで、個々に応じた言葉かけを行うことができた。
- ③参加している保護者の持つスキルを活かした講座を開催し、保護者が主体的に活動できる取組を行った。

## (5) 関係機関との連携・事業協力

- ①わかば子育てセンターは第二地区子育てひろば・幼児交通安全クラブ、せのうえ子育て支援センターは鎌田子育てサロン、北信学習センター家庭学級、いいざか子育て支援センターは飯坂平野地区子育てひろばや学習センター家庭学級などの子育てサークルの支援を行いながら、地区担当保健師や民生児童委員との交流を持ち、地域の子育ての状況把握に努めた。
- ②研修については、コロナ禍により対面開催が難しいことからリモート開催になったことで、積極的に参加できた。子育てひろば全国連絡協議会研修に参加し、全国の状況を知ることができた他、各センターとの認識を共有することができた。

3. 利用状況

(1) 年間利用状況

事業別利用者数	施設名	わかば子育てセンター			
	事業項目	開催回数 (回)	利用数		
			子ども(人)	大人(人)	合計(人)
	子育て広場	159	459	546	1,005
	親子教室	13	97	114	211
	赤ちゃん広場「ピヨピヨ広場」	46	169	169	338
	わかば「子育て広場」	12	67	83	150
	センター開放	243	24	32	56
	合計	473	816	944	1,760
	施設名	せのうえ子育て支援センター			
	事業項目	開催回数 (回)	利用数		
			子ども(人)	大人(人)	合計(人)
	子育て広場「いちようひろば」	156	439	501	940
	親子教室「のびのびくらぶ」	27	126	135	261
	赤ちゃん広場「あかちゃんこんにちは」	42	162	165	327
	ほっこりひろば(全年齢)	18	63	78	141
	センター開放	243	9	9	18
	合計	486	799	888	1,687
	施設名	いいざか子育て支援センター			
事業項目	開催回数 (回)	利用数			
		子ども(人)	大人(人)	合計(人)	
子育て広場「ぽっぽひろば」	146	460	504	964	
親子教室	32	174	213	387	
あかちゃんひろば「ベビーぽっぽ」	37	89	91	180	
センター開放	293	146	137	283	
合計	508	869	945	1,814	

(2) 子育て等に関する相談件数

施設名	相談方法内訳			合計
	電話	来所	訪問	
わかば子育てセンター	24	90	0	114
せのうえ子育て支援センター	7	82	0	89
いいざか子育て支援センター	10	41	0	51
合計	41	213	0	254

## 児童厚生施設

### 設置運営施設

福島市東浜児童センター 福島市野田児童センター

### 福島市指定管理施設

福島市蓬莱児童センター 福島市清水児童センター

福島市渡利児童センター

#### 1. 運営管理

新型コロナウイルス感染症への対策を重視した管理運営に努めた。地域の児童健全育成の活動拠点として、地域における遊びの援助と子育て支援を行い、子どもの心身を育成し、情緒を豊かにすることに努めた。

#### 2. 活動状況

- (1) 子どもの心身の健康が心配される中、知的、社会的能力が衰えないよう情緒が豊かになるよう援助を行った。
- (2) 三密を避けるなど活動に制限が加えられる中、自主性の尊重に努めた。同年齢や異年齢の集団形成については小グループにしてその実行に努めた。
- (3) 子どもの自己効力感や自己肯定感を育てるため、戸外での活動を増やすとともに、学年ごとに分けるなどの創意工夫をした環境作りに努めた。
- (4) 子どもが自発的に活動することが困難な中、思いを受け止め寄り添い、意見を尊重するよう努めた。
- (5) 問題を抱えている子どもが増加傾向にあったが、関係機関と連携を密にして対応に努めた。
- (6) 小学生以上の子どもが学校に行っている時間を利用し、幼児クラブなど乳幼児と保護者が自由に交流できる場を提供し、子育て支援に努めた。
- (7) 地域の育成活動内容を広報し、健全育成を進める環境作りに努めた。
- (8) 事業の中止などにより、学生ボランティアや地域のボランティアの受け入れが困難であった。
- (9) 年度当初は、新型コロナウイルスの感染拡大により自由来館が休止になったが、感染状況の落ち着きから、徐々に自由来館も増えてきたため、感染対策には配慮しながら少人数に分けるなど登録児童と自由来館児童の交流ができるよう工夫に努めた。
- (10) 子どもの安全・衛生管理や防災・防犯対策などに努めた。
- (11) 研修の機会が減り、継続的な研修の実施が困難であった。
- (12) 新型コロナウイルス感染症対策に努めながら 5 つのセンターの子どもが交流できるよう、けん玉講習会とけん玉フェスティバルを開催した。

### 3. 利用状況

施設名		東浜 児童センター	野田 児童センター	蓬萊 児童センター	清水 児童センター	渡利 児童センター	合計
利用者数	幼児	473	228	676	104	946	2,427
	1～3年	3,843	5,843	5,137	11,800	8,853	35,476
	4～6年	354	368	164	771	891	2,548
	中高生	396	155	51	138	162	902
	大人	385	327	590	77	1,253	2,632
	計	5,451	6,921	6,618	12,890	12,105	43,985
	上記のうち登録児童	2,909	5,521	4,655	11,238	7,833	32,156
	1日平均利用者	18.7	23.7	23.2	44.0	41.4	151.0
開館日数(日)		293	293	286	293	293	